

## 被爆58周年原水禁世界大会 ひろば

### 広島・長崎・東海村を結んで、ヒバクを許さない集い (Part 4) アピール

本日、イラクから現地医師らを迎え、被爆地広島に集った私達は、二度と再びヒバクシャを生み出さないとの決意を新たに討論を行った。

アメリカの先制攻撃で始まったイラク戦争で、再び大量の劣化ウラン弾が投下された。劣化ウランは市街地にも大量に散在し、市民にはその危険性も知らされないまま放置されている。今日、森滝さん、現地医師らの報告を受け、再びヒバクシャを生み出さない為に劣化ウラン弾を禁止することが新たな課題であることが確認された。

アメリカブッシュ大統領は核も先制攻撃の選択肢の1つとして位置づけたブッシュドクトリンを昨年9月発表し、先制攻撃能力を高めるために新たに小型核兵器の研究・開発を進めている。これを許さない取り組みを強めよう。世界の1600万人以上にものぼるヒバクシャは未だその被害に対して殆どが補償されていない。木原さんは広島・長崎の被爆者、二世、三世の被爆者、核実験被爆者、東海村ヒバクシャ、原発ヒバクシャ、チェルノブイリ・ヒバクシャ、等の補償を求める運動を連帯して取り組み、「ヒバクシャの補償を勝ち取ることが、核を無くする大きな力となる」と力説された。

今年で4周年を迎えようとしているJCO臨界事故の被害者の大泉昭一さんは、昨年9月、JCOとその親会社である住友金属鉱山に対して損害賠償を求める裁判を提訴された。臨界事故ヒバク住民の意思を代表して大泉さんは健康補償、損害賠償を求める決意を語られ、支援を強く訴えられた。JCO被害者の健康補償を要求する署名は25万5000筆を現在越えている。住民の健康補償を求める闘いが粘り強く行われ、周辺住民の健康診断の拡大・充実を求める運動、被害者住民自らが取り組んでいる健康記録運動が報告された。

長尾光明さんは1998年に多発性骨髄腫を発症し、昨年11月福島県の富岡労働基準監督署に「多発性骨髄腫の発症は原発内の被曝労働に起因する」として労災認定を申請された。長尾さんの労災認定を勝ち取るための運動の取り組み、強化が報告された。福島原発被曝労働者の問題に長年取り組んでこられた石丸小四朗さんより、原発労働の仕組みとその問題点、原発汚染とヒバクの実態、原発遺族労働者の声等が紹介され、全国の原発労働者の健康補償を求める運動の提案等が行われた。これらの討論を踏まえ、以下を決議する。

#### 1. 劣化ウラン弾の開発・製造・使用を国際的に禁止せよ

- ・ 国連など「第三者機関」による劣化ウラン弾の環境汚染、被害地域の健康疫学調査を行わせ、被害の実態を国際的に明らかにさせよう
- ・ 劣化ウラン弾使用地域、使用量などを明らかにさせ、即刻、汚染除去を行わせよう
- ・ 劣化ウラン弾被害者住民・兵士に対し補償・救済を行わせよう
- ・ 国際的、国内的に連帯した運動で、劣化ウラン弾を禁止させよう

2. 日本政府にイラクの劣化ウラン弾をはじめとする無差別大量破壊兵器による被害の実態究明、その補償・救済を行うよう申し入れよう
  - ・ イラクへの自衛隊の派遣をやめよ
  - ・ 自衛隊のクラスター爆弾を廃棄せよ
3. JCO 臨界事故健康補償裁判を支援し、勝利を勝ち取ろう
  - ・ 国は JCO 事故の責任を認め、住民・労働者の健康被害を補償せよ」の全国署名をさらに拡大させよう
  - ・ 住民の健康診断をさらに充実させ、健康補償を行わせよう
4. 長尾光明さんの多発性骨髄腫を早急に労災認定させよう
  - ・ 全国の原発被曝労働者の健康補償を行わせよう具体的には
  - ・ 放射線被曝労働を労働安全衛生法の有害業務に加えよ
  - ・ 健康管理手帳を交付し、国の責任で健康管理を行え
  - ・ 放射線管理手帳を現行の 5年保存から永久保存にせよ
  - ・ 放射線障害に対し適切な診断・治療の行える医療機関を充実させること
  - ・ 原発汚染とヒバク労働の実態を明らかにせよ
5. ブッシュの核軍拡に反対し、戦争反対、NO DU (劣化ウラン弾を禁止せよ)の闘いを押し広げ、核軍縮の闘いをさらに強化しよう
  - ・ 米・英軍はイラク人民、兵士の虐殺を止め、撤退せよ。
  - ・ アメリカをはじめとする核保有国は NPT 条約 (核拡散防止条約) の「核軍縮の約束」を履行し、核軍縮を行え
  - ・ アメリカは包括的核実験禁止条約 (CTBT) を即刻批准し、早期発効させよ、臨界前核実験を即刻停止せよ、核実験準備をやめよ
  - ・ アメリカは小型核兵器の研究、開発、配備、使用を止めよ
  - ・ 劣化ウラン弾、バンカーバスター、クラスター爆弾、気化爆弾等、無差別大量破壊兵器の使用を禁止せよ
  - ・ 日本の核武装を許さない
6. 世界のヒバクシャと連帯してヒバクシャへの補償とヒバクを許さない取り組みを強めよう

2003 年 8月 5日

被爆 58周年原水禁世界大会 ひろば

広島・長崎・東海村を結んで、ヒバクを許さない集い (Part 4)

参加者一同